											3	整理番	ラ	24英-	-101	
教科名	, 1	外国語 科 科		斗目名	英語コ			/ョン I □選択	学年	1	年	単位数	2			
使用教		(	COMET	Engl:	ish	Communication I (SUKEN SHUPPAN) 使用教室					教室	室 HR教室				
	igの標									図ろうとす る基礎的な				るとともに、	情報學	ゃ
評価	評価法		■定期	考査     <sub>オ</sub> ー		■小テンス課題	スト (プレセ	■ノー ヹンテー	ト・授業 ーション	下記項目で 巻プリント ✓・小論文	、 □: こ・レホ ディベ	振り返 ペート・ ベート・	· 自主	三学習ノー )	)	
	評価	a 知識・技能 b 思考・判断・ 表現			外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。その知識を目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。											
	観点の趣旨				単語、文法について理解し、必要な文化的背景について理解している。英語を言語活動を通じて理解し、概要や要点を捉えることができる。英語で話し合ったり、意見の交換をしたりすることができる。											
		С		内に学 (り組) 態度		積極的。 努力し		言語活	動に参	加し、相	手との	コミュ	ニケ	ーションを	·図ろう	) と
		上に示す観点に基づいて、 (1~10の10段階)にまと					で評価し、	. 観点5	別学習#	犬況の評価	(A,	В、С	の31			
学期	月	学習項目・単元				三元 学習内容・ねらい						評価方法 項目 a・b・c				
1	6	be重 Les	中学校の復習 e動詞・一般動詞 esson 1 過去形 esson 2 進行形		形	本文を を知る。 る。 本文を 本文を 記 本文を 記 を 記 の を に の に に に に に に に に に に に に に	売んで、注 また、	海外かり 自身の し過去 しの人の 身が熱い	らの旅行 思い出い 形を使え の好きな わしてい	厚度 番 できる できる できる とこう おいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう か	で の 経 表 る の 理 表 す ま す の 発 る の 発 ま う の そ ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ り ろ	験 ■ す □ を ■	■定対 ■ルラーリー・ コールー・ コールー コールー	月考査 テスト - ト ) 返りシート 品 ォーマンス課題	a b c a a b c	
2	10					文化に 詞を使え 本文を 界のピタ	ついて考 <i>え</i> えるよう! 売んで、	えを発え になる。 ピクト ムを調べ	表する。 グラムに ベ、紹介	1、興味の その過程 こついて理 ↑文を書く よる。	で、助  解し、	動  ■世  □	■小ラ ■ノー □振り □作品	· ジェッシート 記 オーマンス課題	a b c a b c a b c	
3	3	1年	son 5 生の総	復習		ラーのf 持った耶 程で動名	士事につい 職業につい 品詞を使 こ向けて、	いて知る いて考え えるよ	る。そし えをまと うになる	ドッグとそ いて自分が こめて書く る。 内容を復習	興味を 。その	過 ■ □ □	■小ラ ■ノー □振り □作品	) 返りシート i i ォーマンス課題	abcaabcabcabcabcabcabcabcabcabcabcabcabc	

中学校での既習内容を定着させ、聞く、話す、読む、書く、やり取りの活動を通して、新しい項目を学習し ます。

									型 型	を埋番	方	23英-	<u>-20</u> .	1	
教科名	1	外国語 科 科		科目名	科目名 英語コミュニケーション I ■必修 □選択		学年	2	年	単位数		2			
使用教制教材		(	COMET Engli	ish Commu	Communication I (SUKEN SHUPPAN) 使				使用都	教室 HR教室					
学習 目 <sup>7</sup>			英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や 考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。											報や	
	評価法		興味関心、学 ■定期考査 ■パフォー □その他	□小ラ マンス課績 (	テスト 題(プレヤ	■ノー ゼンテー	ト ■∄ -ション・	振り返り 小論文 、	りシート ・レポ <sup>、</sup> ディベー	ト	自主	三学習ノー	)	)	
評価	評価	а	知識・技能	能 の知 る。	戦を目的や	·場面、	状況に応り	じて適り	切に活月	用でき	る技	解を深めて能を身に付	ナけっ	てい	
н і ІІЩ	観点の趣	b	思考・判断表現	「 を言言 合った	単語、文法について理解し、必要な文化的背景について理解している。 を言語活動を通じて理解し、概要や要点を捉えることができる。英語で 合ったり、意見の交換をしたりすることができる。										
	趣旨	С	主体的に学 に取り組 態度	オ。   傾燃に	漬極的な態度で言語活動に参加し、相手とのコミュニケーションを図ろ 努力している。									ろうと	
		示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価(A、B~10の10段階)にまとめます。													
学期	月	学	習項目・単	元   -	:	一 学習内名	容・ねらい	`		<u> </u>	評価方法 項目 a・b・c				
	4 5		Lesson 6 Convenience Stores: コンビニエンスストアが商品を売るため 自分が実践している工夫点について							■定期考査 ■小テスト ■ノート				b с b с	
1	6 7	ŀ	Lesson 7 High School Aquarium	L	とが運営する 引士でインタ	=	学ぶ			3	■作品	オーマンス課題		b с b с	
	9	Sn	Lesson 8 mart Farmin		ート農業に 産業技術		ウェブサ <sup>,</sup> む て、英語で				■小ラ ■ノー		a	b с b с	
2	11 12		Lesson 9 Food Waste	国際	食品廃 的な食糧		題につい <sup>、</sup> ついて英語				■振り ■作品 ■パフ: ■その (	a	b c b c c c		
3	1 2 3		Lesson 10 lliam and H Windmill	His	アフリカの農村で発電のための風車を作った少年の話を学ぶ。 本校の発明品を英語で紹介する。						■定期考査 a b □小テスト ■ノート a b ■振り返りシート a ■作品 a ■パフォーマンス課題 b □その他 ( )				
担当者	からの	シメッ	ッセージ(学	学習方法な	(r)										
										_					

パフォーマンステストを頻繁に実施します。成果物を発表できるようにしましょう。

滋賀県立彦根工業高等学校 整理番号 23英-202

				正石	治万	23央-	202						
教科名	1	外国語 科 和	科目名 ブラッシュアップ英語(選択C) □必修 ■選択	学年	2 年	単位数	2						
使用教			BIG DIPPERビッグ・ディッパー高校英語(数研出版) ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES(数研出版) Tetra 1 (啓隆社)	室 選択教室									
学習 目 <sup>7</sup>			英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、基本 的な文法事項から発展的なものまで正確に理解できる力を伸ばす。										
	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。  ■定期考査 □小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品  ■パフォーマンス課題(プレゼンテーション・小論文・レポート・  ディベート・自主学習ノート)  □その他 (											
評価	評価	a 知識・技能	外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 その知識を目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。										
HII	観点の概	b 思考・判断・ 表現	単語、文法について理解し、必要な文化的背景について理解している 語を言語活動を通じて理解し、概要や要点を捉えることができる。英 話し合ったり、意見の交換をしたりすることができる。										
	趣旨	主体的に学習 c に取り組む 態度	積極的な態度で言語活動に参加し、相 と努力している。	手とのコ	ミュニク	アーションで	を図ろう						
		す観点に基づいて、 10の10段階)にまる	各観点で評価し、観点別学習状況の評価 とめます。 -	Б (A, В,	, СФ3								
学期	月	学習項目 • 単元	学習内容・ねらい		耳	<u>評価方法</u> [目	a • b • c						
	4 5	be動詞・一般動詞 過去形・助動詞など	基本的な文法事項を学びなおす。		■定期	明考査 テスト - ト	abc a abc						
1	6	受動態・完了形など	基本的な文法事項を学びなおす。		□振り ■作品	)返りシート	a b c						
	7	会話文・資料の読み取り	会話文と資料の内容の両方について読み取る力を 長文を読んで、内容を適切に読み取る力と、その内容 表現力を養う。		, , , ,	a b c a b c							
	9	Essay Writing	具体的な言語の使用場面を設定し、目的に応 に書く力を養う。	じて簡潔		明考査 テスト	a b c						
	10	Listening	対話や説明の内容を正しく聞き取る力	■ノ-	- F	a b c							
2	11 12	Listening	対話や説明の内容を正しく聞き取る う。	力を養	■作品	オーマンス課題	b a b c a b c c						
3	1 2 3	Presentation	日常的な話題について、情報や考えるもとに、話して伝える力を養う。		□小ラ ■ノラ ■振り ■作品	) 返りシート i ォーマンス課題	a b c a c a c b c						
		)メッセージ(学習											
パフォ	ーマン	/ステストを頻繁に	実施します。成果物を発表できるよう	にしましょ	ょう。								

							生	<b>E理番</b>	号	24英-	-30	1		
教科名	1	外国	語	科	科目名	論理・表現 I ■必修 □選択	学年	3	年	単位数		2		
使用教										室 HR教室				
学習目	ョの 標		倫理的に正しく表現するための基礎を学び、コミュニケーションを行う場面・状況に応じて、 青報や自分自身の考えを適切に表現する力を養うことを目標とする。											
	評価法		具味関心、 ■定期考 ■パフォ □その他	き査 トーマ	振り返 ート・ ート・	り返りシート ■作品 -ト・ -ト・自主学習ノート) )								
評価	評価	a	知識•	技能	用でき	る技	解を深めて能を身に付	けけて	てい					
щ	観点の趣旨	b	思考・判 表現	見	を言語 合った	文法について理解し、必要な文 舌動を通じて理解し、概要や要 り、意見の交換をしたりするこ	点を捉え	えるこ						
		c 主体的に学習												
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価(A、B、(1~10の10段階)にまとめます。							В、С	の3.			点		
学期	月	学習項目・単元 学習内容・ねらい							ij	評価方法 [目		b·c		
	4	Part1 Lesson $1 \sim 3$ Part1 Lesson $4 \sim 6$				詞・名詞について復習し、伝えたい ≳を持つ語句を用いて表現できるよう				明考査 Fスト	a a	b		
1	5					いて復習し、場面設定に即した語句 るようになる。		■ノート □振り返りシート		a	bс			
1	6	Part:	1 Lesson 7	7 <b>~</b> 9		ついて復習し、場面設定に即した語 きるようになる。	句を用い		■作品 ■パフォーマンス記	• •		bс bс		
	7	Part1	Lesson 1 (	)~11	上に布と入る	型や第3文型について学習し、自分自身の感情やモノの 持つ語句を用いて表現できるようになる。	の様子につい	7 [	]その (	)他		)		
	9	Part1	Lesson 1 2	2~14	1 /4-11 4	動名詞について学習し、伝えたい内 持つ語句を用いて表現できるように				明考査 Fスト	a a	b		
	10	Part1	Lesson 1 5	5~17	7 L DCC -	いて学習し、伝えたい内容を適切な ・用いて表現できるようになる。	意味を持		<b>■ 1 ■ / / / / / / / / / /</b>		a	b c		
2	11	Part1	Lesson 1 8	8~19		こついて学習し、伝えたい内容を適切 Jを用いて表現できるようになる。	な意味を		■作品 ■パフ	引 オーマンス課題		b с b с		
	12	Part1	Lesson 2 (	0~21	100/2 1001	ついて学習し、伝えたい内容を適切 」を用いて表現できるようになる。	は意味を	<u> </u>	]その (			)		
	1	Part2	Lesson1~	3		*学習したことを活用し、勧誘や提案ができるようになる。	、依頼を			明考査 Fスト	a	b		
					, , ,	× (C 5 00 ) (- 12 5)			1)-	- F	a a	b c		
3									■作品 ■パフ	オーマンス課題		b с b с		
									]その (	プ世		)		

論理・表現 I は英語で論理的に正しく表現できるようになることを目標としています。地道に一つずつ復習 を重ね、使える表現を増やしていきましょう。

							整	整埋番号   24-英302								
教科名	1	外国	語	科	科目名		、英語(選択		学年	3	年	単位数	2			
主たる	5教材	チャート式シリーズ BIG DIPPERビッグ・ディッパー高校英語(数研出版)								数室	室選択教室					
学習 目:		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を な文法事項から発展的なものまで正確に理解できる力を伸ばす。									:育成するとともに、基本的					
	評価法		■定期	考査 オー <sup>*</sup>	□小テ	業態度と合わ スト ■ノ (プレゼンラ	<b>一ト</b> ■	長り返り 小論文	・レポ	、		¦ [学習ノー	`)			
評価	評価	a	知識	• 技 <b>能</b>	と の知識る。	外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めているの知識を目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付ける。										
中十八川	観点の	b		現	を言語合った	単語、文法について理解し、必要な文化的背景について理解して を言語活動を通じて理解し、概要や要点を捉えることができる。 合ったり、意見の交換をしたりすることができる。										
	趣旨	С		りに学り組む は度		な態度で言語 ている。	活動に参加し	し、相手	<b>Eとの</b> :	コミュ	ニケ	ーションを	·図ろうと			
					て、各観点 <sup>~</sup> まとめます。	で評価し、観点	京別学習状況(	の評価	(A, E	3, C	か3↓					
学期	月	学	学習項目・単元 学習内容・ねらい							評価方法   項目 a・b・c						
1	5	不動分比関仮	詞 を に 記		毎時間の毎時間の	基本的な文法事 小テストを通し 基本的な文法事 小テストを通し 基本的な文法事 小テストを通し	て、学習項目 事項を徹底的に で、学習項目 事項を徹底的に	の定着を 演習し、 の定着を 演習し、	と目指す		■小ラ ■ノー ■振り ]作品	) 返りシート 品 ォーマンス課題	abc ac c c			
2	9 10 11 12		ssay Wr Lister Lister	ning	対話や	は言語の使用場 に書 説明の内容を 説明の内容を	く力を養う。 正しく聞き!	取る力を	を養う。		小ラ  ノー  振り  作品	) 返りシート }; }-マンス課題	a b c a c c c a b			
3	1 2 3	Presentation		Presentation 日常的な話題について、情報や考えを理由をもとに、話して伝える力を養う。							■定期考査 abc ■小テスト a c ■ノート c ■振り返りシート c □作品 ■パフォーマンス課題 ab □その他 (					
担当者	からの	) メッ	ノセーシ	> (学	習方法など	· )					`		/			
パフォ	ーマン	/ステ	ニストな	お頻繁	に実施しす	さまの成果物を	- 発表できる	ように	しまし	トう						